

さつまいも栽培における

ムツスジアシナガゾウムシ 徹底防除を！

- 鹿屋市、曾於市、志布志市、大崎町、東串良町において被害確認



成虫
(体長：約 9mm)

- 成虫は、つるや葉柄を食害します。
激しく食害されると大きく減収します。
- 幼虫は、つるの中で発育し、蛹になるため防除が困難です。
→成虫を防除し、発生密度を減らすことが重要です（防除方法は裏面）。
- これから植付ける種いも採種ほ場への持ち込みを防ぐために苗床での発生確認と防除が重要です。
- 幼虫が寄生して膨らんだつるを確認したら、成虫の発生に備えてください。



葉柄の食害により、葉が折れた状態になるのが特徴（矢印：食害痕）



つるの膨れ



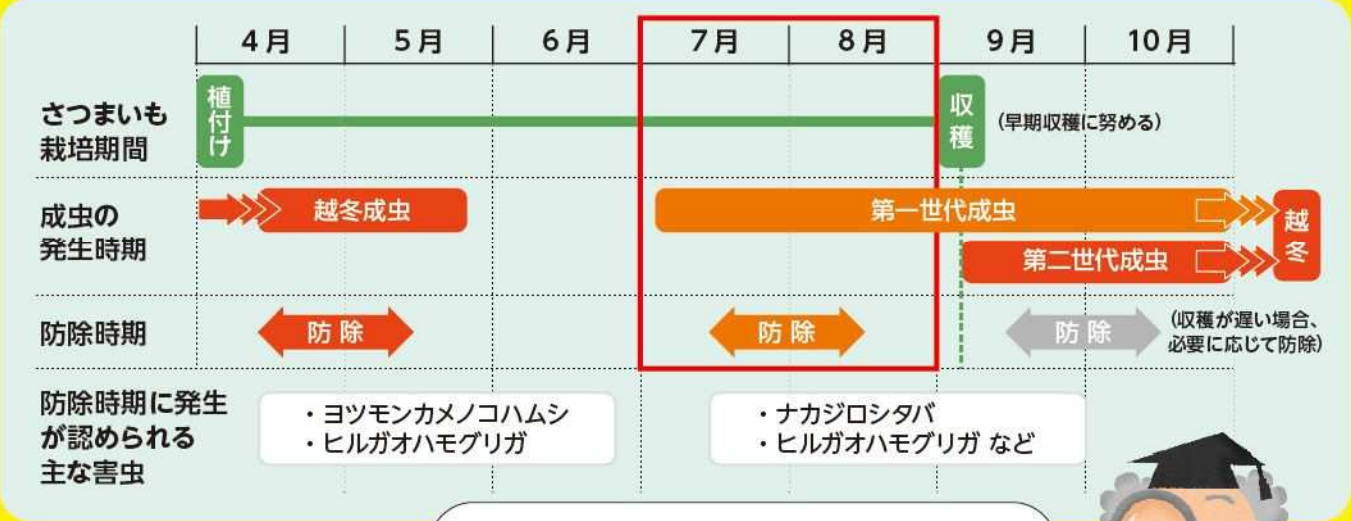
つる内部の幼虫（上）と
さなぎ（下）

6月以降のムツスジアシナガゾウムシの防除方法

○防除のタイミング

- ・ 苗の植付け後に越冬成虫が畑に侵入し、つるや葉柄を食害しながら、つるに産卵します。
- ・ **第一世代成虫が7月頃から、第二世代成虫が9月頃から発生。**
- ・ つるの中の幼虫、蛹への防除は効果的ではないことから、**成虫の発生時期が防除適期です。**
- ・ ナカジロシタバやヒルガオハモグリガなどの防除を考慮した農薬を選定すると効率的です。

○さつまいも栽培でのムツスジアシナガゾウムシの防除適期



防除適期は7～8月！
しっかり防除しましょう！



○さつまいも栽培でのムツスジアシナガゾウムシに使用可能な農薬

商品名	IRAC コード	希釈倍数	使用時期	使用回数	適 用 病 害 虫									
					ムツスジアシナガゾウムシ	アブラムシ類	タバココナジラミ	コナジラミ類	ヨツモンカメノコハムシ	ハダニ類	ナカジロシタバ	ヒルガオハモグリガ	ハスモンヨトウ	イモコガ
コテツフロアブル	13	2000	収穫前日まで	2回以内	○				○	○			○	
スミチオン乳剤	1B	1000	収穫7日前まで	5回以内	○	○			○					○
グレーシア乳剤	30	2000～3000	収穫7日前まで	2回以内	○			○		○	○		○	
ベネビア OD*	28	4000	収穫7日前まで	3回以内	○*		○		○		○	○	○	
トクチオン乳剤 *	1B	1000	収穫21日前まで	3回以内	○*						○		○	
ベネビアOD *	28	4000	収穫7日前まで	3回以内	○*		○		○		○	○	○	
		40	収穫7日前まで		○*		○		○		○	○	○	

注1) 登録内容: 令和8年6月25日現在
注2) *: 植物防疫法第29条第一項の適用により使用可能な農薬を示す
画像・データ提供 県病害虫防除所(令和8年7月作成)